

いま求められる医療をもっと高めたい



社会医療法人財団 石心会

埼玉石心会病院

SAITAMA SEKISHINKAI HOSPITAL



日本医療機能評価機構
認定第 GB137 号

■ 埼玉石心会病院について

患者さん主体の「断らない医療」を実践し 高度で安全な医療を提供します

埼玉石心会病院は「断らない医療」「患者主体の医療」「地域に根ざし、地域に貢献する医療」という3つの理念をもとに1987年開院し、地域の急性期医療を担ってまいりました。

日進月歩の医療に対応すべく、また地域からの医療ニーズにさらに応えるために、2017年11月新築移転し349床から450床へ増床しました。

特に救急医療、脳、心臓疾患は1分1秒が患者さんの生死を分けるため、24時間対応する体制と最新設備を備えるほか、屋上にはドクターヘリ、防災ヘリが離発着できるヘリポートがあり災害時の遠隔地からの医療にも対応可能です。

■ 病院長メッセージ



石井 耕士 病院長

2020年から3年以上続いた新型コロナウイルス感染症は2023年5月から5類感染症の位置づけとなり新しい局面を迎えました。

このコロナ禍の3年間、われわれが実感した事は、地域の行政、医療機関同士が協力し地域全体で患者さんを診るという事の大切さでした。

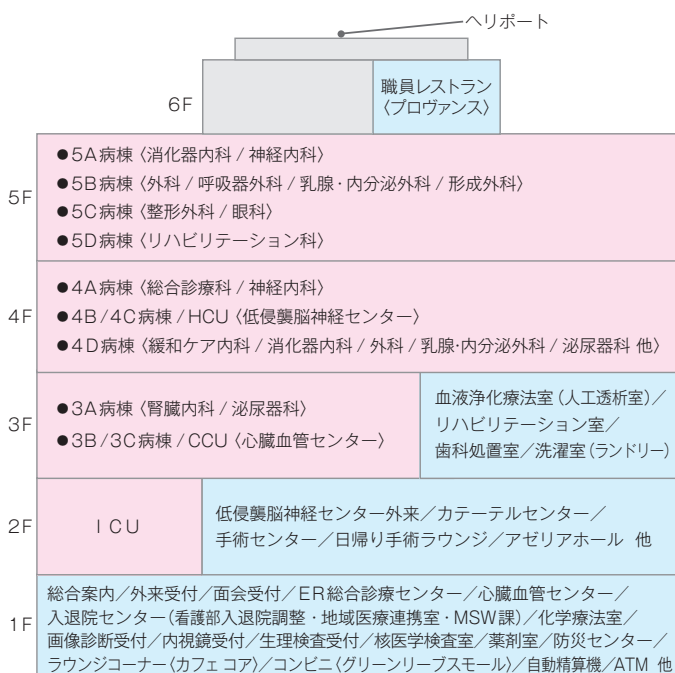
今後、われわれは自らの強みを活かし、この地域に少しでも役に立てるよう精進していききたいと思います。

2001年北里大学医学部 卒業。湘南鎌倉総合病院、横浜市立大学整形外科を経て、2012年川崎病院 整形外科。2015年川崎幸病院 整形外科、救急・総合診療科兼務。

2017年埼玉石心会病院副院長就任（救急・総合診療科兼務）。ER 総合診療センター長就任（副院長/救急・総合診療科兼務）。2021年より現職。

■ 施設概要

- 病院長 石井 耕士
- 病床数 450床
- 開院日 2017年11月1日
- 移転先住所 埼玉県狭山市入間川2丁目37番20号
- フロア数 6階建て
- 建物総延床面積 34,945.78㎡
- 診療科 救急科、総合診療科、集中治療科、循環器内科、消化器内科、糖尿病内科、腎臓内科、神経内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、乳腺・内分泌外科、整形外科、脳神経外科、脳血管内治療科、形成外科、眼科、泌尿器科、メンタルヘルス科、放射線科、リハビリテーション科、病理診断科、麻酔科、歯科 他
- その他の主な施設機能 ヘリポート、免震構造、救急ガレージ棟



■ 臨床センター紹介

ER総合診療センター

■ 救急科 ■ 総合診療科 ■ 救急外科



ER GENERAL MEDICAL
CENTER



西 紘一郎

ER総合診療センター長

- 専門分野・得意とする手技
救急医学全般、外傷、中毒
- 認定資格等
日本救急医学会指導医
日本救急医学会救急科専門医
臨床研修指導医
医学博士（防衛医科大学）

軽症から重症まで すべての救急患者を受け入れる「断らない救急」

救急科、総合診療科、救急外科を中心として外来診療、集中治療、一般入院診療まで広く救急患者さんに対応している当センターは、埼玉西部地区の救急医療の拠点として年間約 10,000 台の救急車を受け入れ、5 名の救急専門医を中心に、軽症から重症まですべての救急患者さんを総合的に診療する北米型救急医療（ER）を実践しています。看護師、救急救命士、診療放射線技師、薬剤師、臨床検査技師が常駐しており、低侵襲脳神経センターや心臓血管センターと連携し、脳卒中や循環器疾患といった重篤な疾患にも迅速に対応できる体制を整えています。その他の専門疾患についても速やかに対応できるように、各診療科とも常に連携しています。また、地域の病院や診療所との連携にも力を入れています。

救急外来には 24 時間経過観察できるホールディングベッドが 25 床あり、入院や経過観察が必要な患者さんが救急外来にいる間も、入院中と同等の治療を行える環境を備えています。当院の理念である「患者主体」の「地域に根ざした」「断らない医療」を実践するべく、スタッフ一同、日々心のこもった医療を提供していきます。



救急搬入された患者さんの初療処置を行う救命

ベッドは 4 床あり、うち 1 床は個室です。



高規格救急車 2 台を使用し、転院搬送を実施。うち 1 台はドクターカー仕様とし、県内外の医療機関からの救急搬送要請を受けて出勤する体制を構築しています。

心臓血管センター

■ 循環器内科 ■ 心臓血管外科



CARDIOVASCULAR
CENTER



加藤 泰之

心臓血管センター長

- 専門分野・得意とする手技
心拍動下冠動脈バイパス術、弁形成術、大血管手術、低侵襲心臓手術
- 認定資格等
日本外科学会専門医・指導医
日本胸部外科学会認定医
心臓血管外科専門医・修練指導者
日本心臓血管外科学会国際会員
身体障害者指定医
医学博士（大阪市立大学）
大分大学医学部臨床教授

内科と外科による「ハートチーム」が 患者さん一人ひとりに適した治療を提供

循環器内科と心臓血管外科が一体となり「ハートチーム」として、あらゆる循環器疾患に対応。救急は医療の原点という考えのもと、急性心筋梗塞や大動脈解離など緊急性の高い疾患を積極的に受け入れています。

1 日 2 人以上のハートセンター医師が当直し、随時緊急手術やカテーテル治療を実施。なかでも狭心症・心筋梗塞に対するカテーテル治療は、開院～2023 年 3 月で 22,524 件。心臓胸部大血管手術はステントグラフトや TAVI を含めると年間約 400 件、腹部末梢血管手術は約 150 件行っています。

2018 年 4 月より不整脈専門医がチームに加わり、カテーテルアブレーション治療を積極的に導入。2022 年 1 月～12 月の 1 年間で 374 件でした。また MitraClip や Watchman など開始し、より低侵襲治療で高齢者や併存疾患のある患者さんに負担の少ない治療を実践しています。



心臓血管外科用手術室はハイブリッド手術室含め 2 部屋あり、並列での手術が可能となっています。



カテーテル室は 3 室あり、患者さんの入り口も別々になっています。

■ 臨床センター紹介

低侵襲脳神経センター

■ 脳血管内治療科 ■ 脳神経外科



MINIMALLY INVASIVE
BRAIN CENTER



近藤 竜史

低侵襲脳神経センター長

■ 専門分野・得意とする手技
脳卒中治療、脳血管内治療

■ 認定資格等

日本脳神経血管内治療学会専門医・指導医
日本神経学会認定神経内科専門医
日本脳卒中学会専門医
日本内科学会認定内科医
医学博士（岩手医科大学）

「すべての患者さんを歩いて家に帰す」ために

当センターは、あらゆる脳血管障害の患者さんに対して、「最善の治療を」「最善のタイミングで」「可能な限り低侵襲に」提供することをモットーとしています。そのために、脳外科開頭手術・脳血管内治療・神経内視鏡治療・脳卒中内科治療のエキスパートが、24時間365日全力で治療にあたっており、年間の治療件数は開頭手術約270件・脳血管内治療約230件に達します。医療者なら、「24時間365日最善の治療」をするのがいかに困難かご存じでしょう。高い技術と志、そして日々頑張り抜くガッツを持つ人が、力を合わせて困難に立ち向かわなくてはなりません。我々のチームは、医師・看護師・診療放射線技師・臨床工学技士・リハビリ療法士・医療事務員が一体となって患者さんを支えています。

「全ての患者さんを歩いて家に帰す」ために、ともにがんばってくれる人材を待っています。

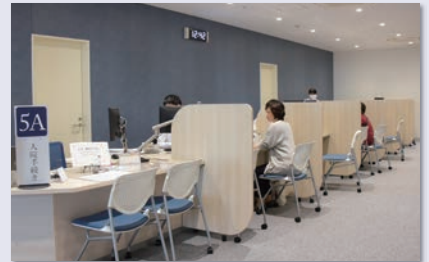


当院のハイブリッド手術室は、ベッドを中心にMRI、CT、顕微鏡手術、血管内治療、内視鏡治療用の機材が配置され、患者さんが寝ているベッドを回転させて治療を実施するという世界初の手術室です。ベッドの真上には西洋の絵画をモチーフにした映像が映し出され、時間とともに色が変化します。周囲のガラスはスイッチひとつで曇りガラスになりプライバシーが守られ、また好きな音楽も流せるなど、リラックスして治療に臨めるように配慮されています。

施設紹介



1階 ER 総合診療センター



1階 入退院センター



2階 手術センター



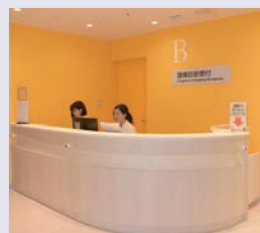
1階 総合案内



4床部屋



3階 リハビリ庭園



1階 検査エリア



■ 診療科紹介

■ 外科

毎週 15 件前後の定時手術と、数件の緊急手術を行っており、年間手術件数は 800 例以上です。また、夜間・休日も救急科担当医、麻酔科医、手術室スタッフと連携して毎日緊急手術に対応しています。術後も医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師、理学療法士などのメディカルスタッフが一丸となってチーム医療を行い、より早い回復を図っています。

■ 乳腺・内分泌外科

当科は乳腺・甲状腺・副甲状腺の疾患を中心に診療を行っています。当科の乳がん診療の特徴は、診断、手術、術前・術後補助薬物療法、転移再発治療、終末期医療まで一貫して行っていることです。また、埼玉県では数少ない日本内分泌外科学会認定施設でもあります。

■ 整形外科

上肢（肩、肘、手）、下肢（股関節、膝関節）、脊椎の各分野で高度な手術による治療を目指しています。超高齢社会を迎えてニーズも増しており、各分野で常に最新最良の治療を行えるよう日々心がけています。

■ 泌尿器科

腎臓・尿管・膀胱や男性生殖器（精巣・前立腺）、骨盤臓器脱（女性の子宮脱、膀胱瘤など）、さらには副腎といった内分泌臓器まで幅広い病気を治療しています。

■ 放射線科

核医学部門
放射線画像診断部門

核医学部門は核医学検査と一部の核医学治療を行っています。放射線画像診断部門は画像診断となるもの全般を扱っており、全身の多くの疾患、病態が対象となります。

■ リハビリテーション科

病気になってから回復されるまでの時間を『急性期』『回復期』『生活期』の3つに区切って、それぞれの時期に特色ある訓練を行っています。

■ 病理診断科

病理専門医による細胞診断、病理組織診断、病理解剖、症例検討会などを担当しています。

■ 集中治療科

2021 年 4 月から新設された診療科で、ICU・CCU・HCU を中心とした重症患者管理のコンサルトを受け診療を行っています。特に重症度の高い ICU については、集中治療医、看護師、臨床工学技士、理学療法士、薬剤師、栄養士など多職種でカンファレンスを毎日行うことで、問題点や治療方針を共有し、質の高い医療の提供につなげています。

■ 呼吸器外科

個々の患者さんの状態を踏まえて最適な治療法を提案いたします。手術は内視鏡下手術（胸腔鏡下手術）を主体に行っています。肺癌、気胸、縦隔腫瘍など多くの疾患に対して胸腔鏡下手術による根治性を兼ねた身体に優しい手術（低侵襲手術）を行っています。

■ 眼科

当科では、的確且つ迅速な眼科医療を提供いたします。白内障手術は、診察所見及び患者さんの生活環境等、総合的に判断した上で適応と思われる場合のみ、日帰りもしくは 1 泊 2 日で行っています。

■ 形成外科

形成外科では主に、皮膚腫瘍、顔面外傷、キズアト修正、ケロイド治療、眼瞼下垂、乳房再建、難治性潰瘍、陥入爪、腋臭症、包茎等に対応しています。

■ 緩和ケア内科

がんの痛み等の症状マネジメントを中心とした緩和ケアを提供しています。対象は悪性腫瘍で症状緩和が必要な方で、抗腫瘍治療を受けている・いないは関係ありません。

■ メンタルヘルス科

うつ病、統合失調症などの精神疾患のみならず、更年期障害、月経前症候群、ストレス性疾患、心身症、てんかん、思春期・青年期の問題まで幅広く対応しています。

■ 歯科

入院中の患者さんを対象に、歯や歯ぐきが痛い、うまく飲み込めない等、お口のトラブル、摂食機能障害に対応しています。

■ 消化器内科

消化器内科の扱う臓器は食道、胃、十二指腸、小腸、大腸といった消化管だけでなく、肝臓、胆嚢、胆管、膵臓など多岐に渡ります。扱う疾患も胃潰瘍、肝炎、胆石などの良性疾患から癌に代表される悪性疾患まで様々です。検査技術の進歩により検査や手技の種類が増え、高度になってきていますので、常に新しい診療を取り入れるように努めています。

■ 腎臓内科

学校や職場の健康診断などで検尿異常を指摘された方から糖尿病や高血圧などで腎不全に陥り代替療法（透析療法、腎移植）が必要になった方まで、様々な腎疾患の診療・治療、また急性血液浄化療法を必要とする他科疾患にいたるまで、幅広く診療を行っています。

■ 糖尿病内科

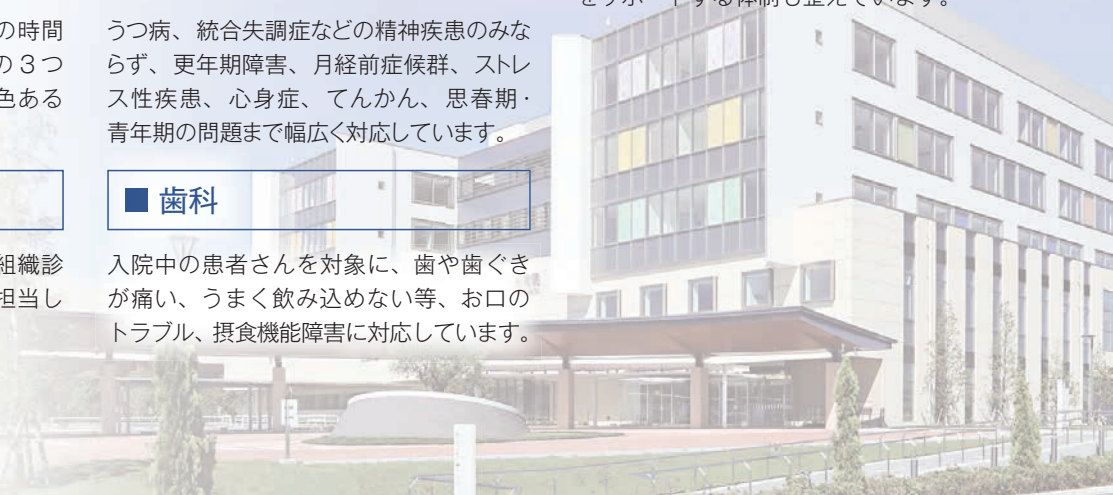
当科では他科と協働で、多くの紹介患者さんや救急外来の患者さんの併診治療を行っています。また、必要に応じてより高次医療機関とも密に連携を取り、ベストな治療を心掛けています。

■ 神経内科

脳や脊髄、神経、筋肉の病気を内科的にみる科です。十分な問診と神経学的診察に基づいて検査を施行し、適切な病態の把握と診断を行うように心掛けています。

■ 麻酔科

すべての科の麻酔管理を担当しているため、全科の全身状態を管理できるだけの解剖学的知識や生理学的知識に加え、気管挿管や硬膜外麻酔、脊髄くも膜下麻酔といった特殊な技術が必要な科です。また、質の高い周術期（手術前～手術後）をサポートする体制も整えています。



■ 職員数

| | |
|----------------|-----|
| 医師（初期研修医20名含む） | 142 |
| 歯科医師 | 1 |
| 看護師・准看護師 | 550 |
| 看護補助者 | 33 |
| 薬剤師 | 44 |
| 診療放射線技師 | 35 |
| 臨床検査技師 | 45 |
| 臨床工学技士 | 30 |

| | |
|----------------|-----|
| 救急救命士 | 21 |
| リハビリ（PT・OT・ST） | 104 |
| 歯科衛生士 | 3 |
| 管理栄養士・栄養士 | 20 |
| 調理師 | 12 |
| 臨床心理士 | 2 |
| 社会福祉士 | 11 |
| 事務 | 155 |

常勤 1,208名

非常勤（各職種合計） 188名

計 1,396名

2023年4月1日現在



■ みんなの健康塾ちゃんねる

みんなの健康塾ちゃんねるは、地域の皆さんの健康維持・増進、疾病の早期発見・早期治療に役立てていただけるよう、また医療を身近に感じていただくことを目的に、健康・医療の情報発信をしています。WEBサイトでは動画の他、健康レシピや学校向けダウンロード教材の配信、また紙媒体「みんなの健康塾ちゃんねるポケット版」を定期的に発行しています。



■ 病院がつくった健康情報サイト

みんなの健康塾ちゃんねる

動画コンテンツの一部をご紹介します



演者：埼玉石心会病院 循環器内科
入江 忠信 医師



演者：埼玉石心会病院 EMT課
坂寄 裕馬 救急救命士
鈴木 康史 救急救命士



演者：埼玉石心会病院 栄養部
秋山 好美 管理栄養士

公式サイト



YouTube
「みんなの健康塾ちゃんねる」公式チャンネル



LINE 公式アカウント



Instagram

施設紹介



1階 ラウンジコーナー 焼きたてパンと各種飲み物を提供する（カフェ コア）を併設



1階 コンビニエンスストア（グリーンリープスモール）



6階 職員レストラン（プロヴァンス）
天気の良い日は富士山が見えます



4階 中央エレベータ正面 病棟案内



6階 屋上庭園

■ 埼玉地区事業所紹介

急性期治療と入院を受け持つ「埼玉石心会病院」、外来に対応する「さやま総合クリニック」、そして透析と腎臓専門外来の「さやま腎クリニック」の3施設が連携し、社会医療法人財団 石心会の基本理念である「断らない医療」「患者主体の治療」「地域に根ざし、地域に貢献する医療」を実践してまいります。



急病に関しては「ER 総合診療センター」が24時間365日断らない救急医療を貫きます。遠隔地からの急病患者の搬送、また、広域災害に備えて屋上に大型ヘリコプターが離発着できるヘリポートも設けました。生活習慣病の大半を占める脳と心臓の病気に関しては「低侵襲脳神経センター」「心臓血管センター」を設け、世界最高水準の医療を提供できる体制を目指しました。これら3つの臨床センターを軸に埼玉石心会病院は総合的な診療科を網羅し、地域はもちろん全県民から愛される病院を目指します。



2003年、埼玉石心会病院の一般外来を分離・独立させ開設しました。病院の外来部門として機能することはもちろんですが、地域の皆さんの健康維持を助け、病気の早期発見・早期治療、また在宅医療を通じて生活を支えることが重要になります。地元の人が地元で治療を完結できる真の地域医療を、自信を持って提供できるように、治療技術を高めてまいります。2009年4月、全面バリアフリーの健診・人間ドック専用フロア「健診センター」を4階に開設。「女性検診さくらホール」も併設し、女性のみなさんに安心して受診いただけるよう配慮しています。CT、MRI、マンモグラフィ、内視鏡検査など最新の医療機器をそろえ、迅速な検査ができる体制を整えています。



〒350-1305 埼玉県狭山市入間川4-15-25
TEL 04-2953-9995 (外来予約センター)
〈月～金〉8:00～19:00 〈土〉8:00～17:00
〈日・祝日〉8:30～17:00



〒350-1305 埼玉県狭山市入間川4-15-20
TEL 04-2900-3333 (代)



2008年、さやま総合クリニックの外来透析部門を分離・独立して開設しました。単なる透析施設というだけでなく、腎臓内科外来や多発性嚢胞腎専門外来なども併設し、あらゆる腎臓病に多職種を含めたチーム医療で対応しております。腎代替療法では、血液透析、腹膜透析、在宅血液透析と腎移植以外のすべての代替療法の選択が可能です。糖尿病性腎臓病の進展予防においては、狭山市、入間市、所沢市などのかかりつけ医の各先生方と連携をさせていただき、患者さんの紹介・併診により重症化の予防と透析まで進展させないことに力を入れています。今後、高血圧症治療の一つである腎デナベーションのような他科との連携による最新の治療についても、地域での治療を完結できるように取り組んでまいります。



- いきいき訪問看護ステーション鶴ノ木
- 石心会介護支援センター
- 石心会ヘルパーステーション
- 狭山市入間川・入間川東地域包括支援センター

埼玉地区事業所では医療、介護、福祉をトータルでサポートできるようにそれぞれに専門職員を配置し、互いに密接な連携をとっています。地域ケアセンターは、訪問看護、居宅介護支援、訪問介護と、狭山市から委託されている高齢者の総合相談窓口があります。

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川4-10-15



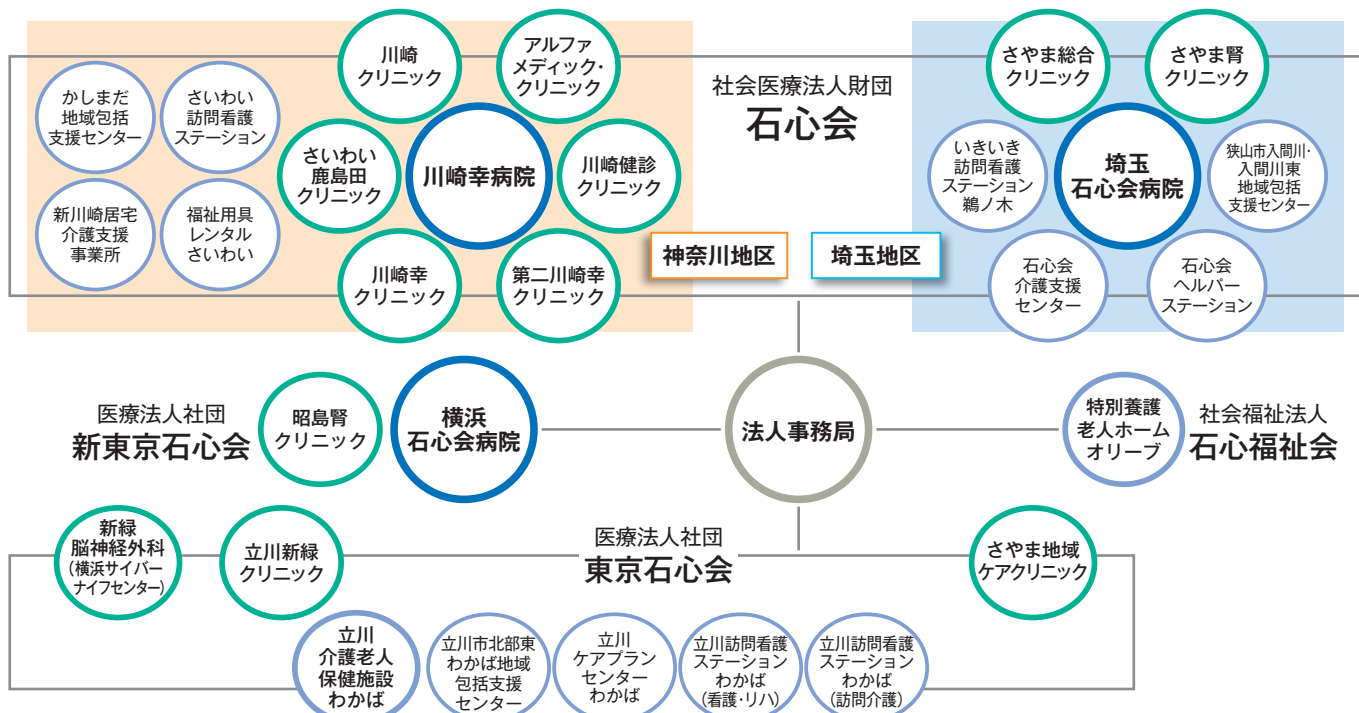
2018年1月に開設し、在宅医療、訪問リハビリテーション、人工透析を行っています。2021年8月には在宅医療の拠点の役割として、入院診療も開始しました。

地域での「命と生活を支えるクリニック」を目指し、日々診療を行っています。



〒350-1323 埼玉県狭山市鶴ノ木1-33
TEL 04-2955-5000

■ 石心会グループ施設紹介



※横浜石心会病院
2023年9月19日にさいわい鶴見病院より名称変更

■ 交通アクセス



● 電車をご利用の場合

《西武新緑線「狭山市駅」西口から》徒歩10分(狭山市市民会館隣)

《西武池袋線「入間市駅」南口から》西武バス、狭山市駅西口行き「社会福祉会館」下車 徒歩約7分、または「さやま地域ケアクリニック」下車、さやま総合クリニックから無料シャトルバスをご利用ください。

● 路線バスが乗り入れています

《市内循環バス「茶の花号」》◆奥富・狭山コース(新狭山駅～狭山市駅西口～西武柏原ニュータウン) ◆便数：午前1往復、午後1往復 ◆運休日：日曜日、年末年始(12月29日～1月3日)

《西武バス》西武新緑線「狭山市駅」西口、西武バス1番のりば(狭山21系統)サイボクナム行き、または(狭山24系統)西武柏原ニュータウン行きにご乗車いただき「埼玉石心会病院」下車

● お車をご利用の場合

《関越道・川越ICから》約6km、国道16号を八王子・狭山方面へ、「市民会館入口」を左折、約300m先を左折
《圏央道・入間ICから》約7km、国道16号を川越方面へ、「市民会館入口」を右折、約300m先を左折
《圏央道・狭山日高ICから》約4.5km、[狭山・日高方面]から出て3つ目の信号を右折、[新富士見橋]を渡り、国道16号を川越方面へ左折、最初の交差点「市民会館入口」を右折、約300m先を左折

● 駐車場(有料)

第2駐車場：21台、第6駐車場：100台

詳細図



社会医療法人財団 石心会
埼玉石心会病院
SAITAMA SEKISHINKAI HOSPITAL

〒350-1305 埼玉県狭山市入間川 2-37-20
TEL:04-2953-6611(代表)
<https://saitama-sekishinkai.jp>

